ナント・オフィス・キャッシュカード規定

1. (カードの利用)

普通預金について発行したオフィス・キャッシュカード（以下「カード」といいます。）は、普通預金口座について、次の場合に利用することができます。

- ① 当行および当行がオンライン現金自動預金機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下「預金提携先」といいます。）の現金自動預金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「預金機」といいます。）を使用して普通預金に預入れをする場合
- ② 当行および当行がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下「支払提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「支払機」といいます。）を使用して預金の払戻しをする場合
- ③ 当行および支払提携先のうち当行がオンライン現金自動支払機の共同利用による振込業務を提携した金融機関等（以下「振込提携先」といいます。）の自動振込機（振込を行うことができる現金自動預入払出兼用機を含みます。以下「振込機」といいます。）を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合
- ④ その他当行所定の取引をする場合

2. (預金機による預金の預入れ)

- (1) 預金機を使用して預金に預入れをする場合には、預金機の画面表示等の操作手順に従って、預金機にカードまたは通帳（預金提携先の預金機を使用する場合はカード）を挿入し、現金を投入して操作してください。
- (2) 預金機による預入れは、預金機の機種により当行所定の種類の紙幣および硬貨（預金提携先の預金機を使用する場合は預金提携先所定の種類の紙幣）に限ります。また、1回あたりの預入れは、当行および預金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。

3. (支払機による預金の払戻し)

- (1) 支払機を使用して預金の払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に従って、支払機にカードを挿入し、届出の暗証番号および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。
- (2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当行または支払提携先所定の金額単位とし、1回あたりの払戻しは、当行または支払提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの払戻しは当行または支払提携先所定の金額の範囲内とします。（書面その他の当行所定の方法により個別に限度額を登録された場合は、登録金額の範囲

内とします。)

- (3) 支払機を使用して預金の払戻しをする場合に、払戻請求金額と後記5.(1)に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額（当座貸越を利用できる範囲内の金額を含みます。）をこえるときは、その払戻しはできません。

4. (振込機による振込)

振込機を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って、振込機にカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

5. (自動機利用手数料等)

- (1) 預金機、支払機または振込機を使用して預金の預入れまたは払戻しをする場合には、当行および預金提携先、支払提携先または振込提携先所定の預金機・支払機・振込機の利用に関する手数料（以下「自動機利用手数料」といいます。）をいただきます。
- (2) 自動機利用手数料は、預金の預入れ時、払戻し時または振込時に、通帳および払戻請求書なしで、その預入れ、払戻しまたは振込資金の払戻しをした預金口座から自動的に引落します。なお、預金提携先、支払提携先または振込提携先の自動機利用手数料は、当行から提携先に支払います。
- (3) 振込手数料は、振込資金の預金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引落します。

6. (代理人による預金の預入れ・払戻しおよび振込)

- (1) 代理人による預金の預入れ・払戻しおよび振込の依頼をする場合には、代表者本人から代理人の氏名および暗証番号を届出てください。この場合、当行は代理人（1名に限ります。）のためのカードを発行します。
- (2) 代理人カードにより振込の依頼をする場合には、振込依頼人名は本人名義となります。
- (3) 代理人のカードの利用についても、この規定を適用します。

7. (預金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)

- (1) 停電、故障等により預金機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当行本支店の窓口でカードにより預金に預入れをすることができます。
- (2) 停電、故障等により支払機および振込機による取扱いができない場合、当行窓口営業時間内であっても窓口でのカードによる預金の払戻しをすることはできません。

8. (カードによる預入れ・払戻し金額等の通帳記入)

カードにより預入れた金額、払戻した金額、自動機利用手数料金額、振込手数料金額の通帳記入は、通帳が預金機、振込機、当行の支払機もしくは当行の通帳記帳機で使用された場合または当行本支店の窓口に出された場合に行います。また、窓口でカードにより取扱った場合にも同様とします。

9. (カード・暗証番号の管理等)

- (1) 当行は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当行が代表者本人に交付したカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当行所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。
- (2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに代表者本人から当行に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。

カードの使用・暗証番号の管理上の過失・偽造・盗用・不正使用その他の事故により生じた損害については、当行は責任を負いません。

10. (カードの紛失、届出事項の変更等)

- (1) カードを紛失した場合または社名(団体名)、代理人、暗証番号その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに代表者本人から当行所定の方法により当行に届出てください。

この届出の前に生じた損害については、当行は責任を負いません。

- (2) 暗証番号の変更は、前(1)によるほか、当行の預金機・支払機(支払専用機を除きます)・振込機を使用して随時行うことができます。この場合には、預金機・支払機・振込機の画面表示の操作手順に従って、カードを挿入し、現在の暗証番号、および新しい暗証番号を正確に入力してください。代理人のカードについても、代理人により同様に変更を行うことができます。

11. (カードの再発行等)

- (1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当行所定の手続をした後に行います。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。
- (2) カードを再発行する場合には、当行所定の再発行手数料をいただきます。

12. (預金機・支払機・振込機への誤入力等)

預金機・支払機・振込機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当行は責任を負いません。なお、提携先の支払機を使用した場合の提携先の責任についても同様とします。

13. (解約、カードの利用停止等)

(1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる場合には、そのカードを当店に返却していただくか、そのカードの磁気ストライプ部分を切断のうえ破棄してください。なお、当行普通預金規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。

(2) カードの改ざん、不正使用など当行がカードの利用を不相当と認めた場合には、その利用をおことわりすることがあります。この場合、当行からの請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。

(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。

この場合、当行から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当行の窓口において当行所定の本人確認書類等の提示をうけて、当行が本人と確認できた場合には、停止を解除します。

① 後記 14. に定める規定に違反した場合

② 普通預金規定により、預金口座の預金取引が停止された場合

③ 預金口座に関し、最終の預入または払戻から当行が別途表示する一定期間が経過した場合

④ カードが偽造・盗難・紛失等により、不正に使用されるおそれがあると当行が判断した場合

14. (譲渡、質入れ等の禁止)

カードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

15. (規定の適用)

この規定に定めのない事項については、当行普通預金規定および振込規定により取扱います。

以上